

# 大阪府市場だより

第335号  
 (令和2年1月25日)  
 発行  
 大阪府中央卸売市場協会  
 茨木市宮島1-1-1  
 TEL (072) 636-3698  
 FAX (072) 636-3699  
 MAIL: 36983699@  
 iaa.itkeeper.ne.jp



絵：「マグロ」磯野 由美（磯丸運送）

## 年賀交歓会を開催 府市場協会

令和2年を迎え、1月5日の午前8時20分から、大阪府中央卸売市場協会（理事長・山橋英一郎（株）大水社長）が主催する年賀交歓会が管理棟7階大会議室で開催された。

来賓として、南部和人大阪府環境農林水産部長をはじめ、西恵司大阪府議会副議長、福岡洋一茨木市長、衆議院議員の原田憲治氏・足立康史氏、府議会議員の松本利明氏・うらべ走馬氏・中野剛氏のほか、市場関係企業及び団体の役員ら約100人が出席した。



山橋 理事長  
 府市場協会の山橋理事長は、「大阪府中央卸売市場管理センター株

式会社を中心となり、施設の再整備に向けて場内関係者からなる委員会が発足し、詳細な議論の場である青果分科会、水産分科会において、開放型施設から閉鎖型施設への転換など、活発な議論をいただいております」

「当市場の特色である指定管理者制度や恵まれた立地条件等、その強みを最大限に発揮することにより、産地並びに販売先、そして消費者のご支援を得て、市場の発展につなぐことができるものと確信しております」とご挨拶。

続いて、南部大阪府環境農林水産部長が吉村洋文知事の祝辞を代読され、「場内事業者の皆様におかれては、将来の市場のあ



南部大阪府環境農林水産部長は、「府市場協会が、場内事業者の皆様方と一体になって取り組みを進めてまいります」と述べられた。

り方について精力的に検討いただいております。府としても中央卸売市場としての役割を最大限に発揮できるように、引き続き

《7頁に続く》



ご来賓の皆様



主催者の皆様



## 新年のご挨拶

大阪府中央卸売市場協会理事長 山橋 英一郎

新年明けましておめでとうございます。

令和2年の年頭にあたり、謹んで新春のお喜びを申し上げますとともに、旧年中に賜りました当協会に対するご支援ご協力に心より厚くお礼申し上げます。

昨年は、令和の時代を迎え、心を新たにしたところがございますが、市場を取り巻く環境は、厳しいものがございます。少子高齢化などにより

食料消費が伸び悩み、加えて異常気象、自然災害が生鮮食料品の供給・流通に大きな影響を与えました。将来を見据える確かな視点をもって、新しい時代にふさわしい市場の実現に向けて現状を打開していくことが求められていると思えます。

本年は、6月21日施行の改正卸売市場法のもと、新しいルールで市場が運営される年になります。

幸い、大阪府におかれましては、法の改正に伴う府市場

の業務規程改正の方向性等について、私も場内関係者の意見をお聞きいただき、その枠組みをおとり決めいただきたく思っています。

また、大阪府中央卸売市場管理センター株式会社が中心となり、施設の再整備に向けて場内関係者からなる「市場施設等整備構想策定検討委員会」が発足しております。詳細な議論の場である青果分科会、水産分科会において、これまでそれぞれ7回にわたって、開放型施設

から閉鎖型施設への転換など、活発なご議論をしていただいております。

さらに、当市場の特色である指定管理者制度や恵まれた立地条件等大阪府市場の強みを最大限に発揮することにより、産地並びに販売先、そして消費者の皆様方のご支援を得て、これからの市場の発展につなぐことが出来るものと確信をしております。

昨年11月10日に、毎年恒例の「市場開放デー」を盛大に開催することができました。当日は晴天にも恵まれ、例年に増して多くの来場者の方々で賑わい、一般の消費者の皆様方にお買い物やいろいろなア

トラクションを大いに楽しんでいたことができました。このように、場内関係者一丸となった取り組みが着実に進んでおります。当市場の更なる発展の機運を高めることができていますものと考えております。

結びにあたり、本年も、大阪府のご指導、茨木市、国会議員、府議会議員の各先生方のご支援、市場関係の皆様方のご協力を切にお願い申し上げますとともに、本年が皆様方にとりまして、より良い一年となりますことを心よりご祈念を申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。



## 新年のご祝辞

大阪府知事 吉村 洋文

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、令和となつて初の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

また、卸売業者、仲卸業者の皆様、出荷者をはじめとする関係業界の皆様には、日頃から、安心・安全な生鮮食料品の流通拠点として、府民への

食の安定供給にご尽力いただいておりますこと、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

昨年4月に知事に就任して以降、大阪市長としての経験も活かしながら、大阪の成長をさらに加速させ、府民の皆様の豊かさにつながるよう、府政を前に進めてまいりました。

その結果、昨年は、G20大阪サミットの成功や、百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録

の実現など、世界の中で大阪の存在感を示す基盤を整えることができました。とりわけ、G20大阪サミットでは、夕食会等において、泉州水なすやアラウエアなど、延べ115品目の大阪産(もん)の食材が採用され、世界に向け、大阪の食の魅力が大いに発信されました。

大阪府といたしましては、これを契機とし、国内外から多くの方々を訪れる2025

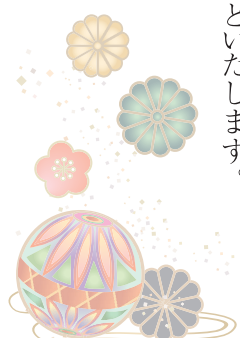
年大阪・関西万博に向け、大阪産食材のさらなる魅力発信に取り組んでまいります。

さて、近年における、生鮮食品の消費減少や流通の多様化等の状況に的確に対応すると共に、卸売市場毎の実態に応じた創意工夫を生かす取り組みを促進するため、卸売市場法が改正される等、大きな変革期を迎えております。

こうした中、場内事業者の皆様におかれましては、将来の市場のあり方について精力的に検討いただいております。大阪府といたしまして、中央卸売市場としての役割を最大

限に発揮できるよう、引き続き大阪府中央卸売市場管理センター株式会社の皆様や、場内事業者の皆様方と一体となつて取組みを進めてまいりますので、ご理解・ご協力の程よろしくお願いいたします。

結びに、本年が皆様にとって実りある素晴らしい年となりますことを祈念し、新年の挨拶といたします。





## 新年のご挨拶

大阪府中央卸売市場場長 船木 昭夫

新年明けましておめでとございます。

令和2年の輝かしい新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。また、平素は大阪府中央卸売市場の運営につきまして、格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、卸売市場を取り巻く環境は、少子高齢化や消費者ニーズの多様化に伴う生鮮食料品の消費の減

少や流通構造の多様化など、大変厳しいものとなっております。

こうした中、当市場は今年で開場から42年目を迎えました。現在、多様化する消費者ニーズや流通構造にきめ細かく対応していくために今後の市場の再整備について場内関係者と検討を行っております。

当市場が有する交通便利の良さと広大な敷地等の強みを活かしながら、卸売市場の本来の目的である安全、安心な生鮮食料品の安定供給などの役割を最大限に発揮する

ため、求められる機能・施設設備面について検討を進め、府民の台所としての役割や昨今増加する自然災害時においても対応可能な市場を目指してまいりますと考えております。

## 市場施設等整備構想策定に向けて

大阪府中央卸売市場管理センター 代表取締役 山口 秀雄

統括 宮前 茂



明けましておめでとございます。バブルの崩壊に始まり、インターネットの普及による社会生活の変化、未曾有の災害に見舞われた平成が幕を閉じ、皆様方には「令和」に込められた平穏で健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、本年6月に改正卸売市場法が施行されることに伴い、大阪府中央卸売市場業務規程(条例)の改正手続きが進められ、この2月定例府議会に改正案が上程される運びとなりました。

改正に当たりましては、現行の

取引業務に支障が生じることが無いよう求めてまいりましたところ、実態に近い内容となる見込みであり安堵しております。

一方、府市場は敷地面積や立地条件からみて魅力的な市場であるにもかかわらず、着工から45年が経過し、施設設備の老朽化に加え、物流の効率化、温度管理、加工機能の強化など時代のニーズに対応仕切れない様々な課題を抱え、川上川下の期待に応えられない状況になりつつあります。

管理センターといたしましては、このような課題を克服していくため、より効率的な管理運営業務に

努めるとともに、ハブ市場を目指し、ハードソフト両面にわたる特色ある活性化事業を積極的に推進することにより一定の成果をあげてまいります。

このことは、全国33市場が勉強のため来場され、大阪府はもとより、弁護士や公認会計士等で構成される外部の第三者委員会におきましても非常に高い評価をいただいていることから窺い知ることができ

ます。

また、建替を含めた新たな整備計画の策定につきましては、管理センターが事務局となり立ち上げた「市場施設等整備構想策定検討委

員会」傘下の青果及び水産分科会においてそれぞれ7回にわたって精力的な検討が進められてきたところであり、この1月には、策定の前提となる基礎調査を行うとともに場内事業者の方々を対象としたアンケート調査を実施するなど意見集約を図つてまいります。

協議会等で頂いたご意見を踏まえ、改正法及び業務規程の施行後も引き続き円滑な市場運営を継続し、生鮮食料品の流通拠点としての機能を十分に発揮する観点を踏まえて改正案の作成を進めてまいります。

当市場では現在、平成29年3月に策定した市場の経営戦略である「大阪府中央卸売市場経営展望」に基づき市場の活性化に向けた様々な取組みを進めております。

この取組みの中で、指定管理者である大阪府中央卸売市場管理センター株式会社におかれては、従前より民間会社のノウハウを十分に発揮し、サービス水準を低下させるこ

となく、徹底した経費の節減を努めるなど、効率的な運営を行っており、大幅なコスト削減を実現しております。本年も、引き続き連携を深めながら市場の活性化を図つてまいります。

本年も市場関係者とともに、安全・安心な生鮮食料品を府民の皆様へ安定供給する流通拠点としての役割を果たせるよう、「層取り組んでまいりたい」と存じますのでよろしくお願い申し上げます。

結びに、市場関係者の皆さまの益々のご健勝とご多幸を心から祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

り専門家や各界からの貴重なご意見を賜りながら、全国に先駆け、50年、100年先に必要とされる市場機能を見据えた整備計画となるよう、そのコンセプトや技術的手法、建設事業費、民間活力の活用方策等について検討し、来年度中にも基本構想素案を策定してまいりますと考えています。

一方、開設者におきましても、市場の将来のあり方を検討するための調査費の財源確保に向けて努力されているところであり、今後、整合性を図つてまいります。

本年は、オリンピックイヤーとして何かと多忙な年になりますが、市場関係者が「ワンチーム」となり、市場の発展にしっかりと取り組んでまいりますので関係各位の一層のご指導・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今後とも、市場関係者はもとよ

り、市場関係者はもとよ

# 新年特集

## 常駐代表者の皆さんからの新年のご挨拶(要旨)



**時代に合った特色を打ち出す**  
大阪北部中央青果(株)  
代表取締役社長 三木 博司

昨年は平成から令和に変わり慶事が続くとともに、ラグビーワールドカップでの日本選手の活躍、吉野彰氏のノーベル化学賞の受賞、大阪では日本初のG20サミットの開催などで活気づく一年でありましたが、台風による風水被害が東日本太平洋

洋側の広範囲な地域で発生し、多くの犠牲者が出たことには、今も心が痛み思っています。被災者の方々には改めてお見舞いを申し上げます。

### スピード感を持って

大果大阪青果(株)  
専務取締役北部支社長 酒井 孝博

昨年は5月に新天皇の御即位、元号が「平成」から「令和」へと移り変わる節目の年となりました。6月にはG20大阪サミットが開催され、大阪が広く世界にアピールし再認識されたと思います。9月にはアジア初開催となったラグビーワールド

ドカップでは日本中が盛り上がり「ワンチーム」目標を持ち、皆で助け合い、諦めない気持ちで私達に身を投じて強く伝えていただきました。異常気象は毎年全国各地で起っています。九州での記録的な大雨、又台風15号・19号・21号と暴風と大

### 新時代の卸売市場を目指して

(株)うおいち  
常務執行役員北部支社長 小笠原 元功

昨年は、元号も令和に改まり、新天皇が即位されるといふ新しい時代の幕開けとなる年でした。

しかし、我々水産業界の足元では漁獲量の減少傾向はいっそう進み、10月の消費税アップもあり、年の後半に向けては環境的に大変厳しいものがありました。北部市場全体でみましても水産物の取り扱い数量、金額(4月~10月迄)は昨年対比で数量96.8%、金額97.6%と依然、減少傾向が続いています。そ

係の悪化など先行きは不透明な状況が続いております。そのような経済背景の元、昨年の十月二日より消費税増税と軽減税率制度が施行されました。政府は消費税値上げにより物価上昇を予測しています。ただ、消費については社会保障の負担が増加しており、潜在化している消費税増税の影響を含め、中長期的な伸びは難しいと思われま

さて、今年度は東京オリンピックが開催されます。観光で日本に入国する外国人は、四千万人に及ぶと

雨による甚大な被害は、まだ記憶に新しい所です。被害に遭われた皆様方には衷心よりお見舞い申し上げます。

我々流通業界におきましても川上、川下から刻一刻と大きな変化の波が押し寄せ、今までのスピード感では対処出来ない状況になって来ています。青果業界では生産者の高齢化、後継者不足による生産量の減少傾向、又運送業界に於いても運転手不足等が深刻な問題となつています。北部市場内でもコールド

考えられます。昨年のようなインバウンドの爆買いが無くても、日本の経済が良くなること、期待させられます。オリンピックに続く大きな事業として、二〇二五年に大阪で万国博覧会が開催されることと決定致しております。オリンピックで盛り上がった国内状況を引き継いで、関西経済も底上げするのではないのでしょうか。

大阪府中央卸売市場が開場した昭和五十三年からすると、卸売市場を中心とした青果物物流通の川

チーン化、HCCPの問題等対処すべき問題が山積みされています。2018年11月に市場施設等整備構想策定検討委員会のもとに青果分科会が設置され1年余りが過ぎ活発な議論を経て意見集約が出来る方向になって来ています。現状の問題を認識しスピード感を持って将来への対処をしなければ重大な局面に陥る事も考えられます。変化の時代は最大のチャンスと考えています。北部市場としてハード面・ソフト面を含め、不変の部分と変わら

昨年11月には当社も水産の各事業者様と共同で「市場再整備基本構想に関する要望」のとりまとめをさせていただきます。本年は再整備に向けていよいよ計画も具体的に進められていくことになるかと思っております。当市場は大阪三市場のなかでも特に交通の利便性、地理的条件に恵まれているうえに広大な敷地を有しております。その優位性を最大限に活かし、市場活性化のために当社も真剣に知恵

上・川下及び流通環境は大きく様変わりしました。卸売市場法が改正され、新法に則った業務規程が本年6月には施行されます。今迄、画一的であった各中央卸売市場の取引は市場毎に特色を作っていくと考えられます。改正卸売市場法は規制緩和を前面に出しております。当社と致しましては、青果物物流通の大きな流れに乗り遅れず、時代に合った特色を打ち出し、関係機関のご支援を賜りながら取り扱いは伸ばして行きたいと考えております。

なければならぬ部分を大阪府管理センター・青果卸売組合卸2社の皆様方と全面建て替えに向け、お互いの立場で出来る事を前向きに取り組み、目的は「つ将来に向かい拠点市場であり続ける事」で北部市場全体が「ワンチーム」となり、生産者・流通業界から支持される将来像を描き、より良い北部市場であり続けるために関係する皆様方と協力し力強い一歩を踏み出せる様、努力して参ります。

を絞ってまいります。今年度は東京でオリンピック・パラリンピックが開催されます。関西では2025年に大阪万博も控えており、インバウンド需要も引き続き底堅いと聞きます。決して悪いことばかりではなく、期待のもてる明るいニュースもあります。ひとつひとつのチャンスを見逃さず、市場関係者の皆様方と協力し、新時代にふさわしい賑わいのある市場づくり、に貢献してまいります。

## 市場の発展に一層の努力

(株)大水

執行役員北部支社長 花木 章男



昨年は、元号が平成から令和に改元され、新たな時代の幕開けとなりました。また、ラグビーワールドカップが日本で開催され日本代表が史上初のベスト8進出を果たし日本全国に夢と感動をも

## 特徴を生かした活性化を推進

大阪府青果卸売協同組合

理事長 東野 達雄



昨年は、「平成」から「令和」へと元号が変わり、新しい時代を迎える年となりましたが、台風により九州北部地方・関東地方・甲信地方・東北地方で記録的大雨となり、多くの尊い命が失われ自然の猛威をまざまざと見せつけられた年で有り、また、経験則を超える甚大な被害に遭われ未だ不自由な暮らしを余儀無くされている被災地の皆様の心労は、言語に絶するものと拝察し改めてお見舞いを申し上げますと共に二日も早い復旧復興をお祈りする次第です。

さて、昨年6月に食品衛生法等の一部が改正され、原則、全ての食品等事業者は、HACCPに沿った衛生管理の実施が求められることになり、

## 温度管理の徹底を目指して

大阪府水産物卸協同組合

理事長 榎本 昭弘



昨年は、世界各地で制御不能な異常気象が猛威を振るい、また、国内では世界遺産の首里城が焼失するなど想定外の現象が次々に発生した一方、皇太子殿下のご即位、ラグビーワールドカップのベスト8進出や吉野彰さんのノーベル化学賞の受賞など大きな感動を受けたシーンも記憶に新しく、何かと話題の多かった1年でありました。

今年には、56年振りに東京で開催されるオリンピックイヤーとして日本中が熱狂に包まれると思いが、市場にとりましても、改正卸売市場法が今年6月に施行されますことから大きな節目の年となります。

「差別的取扱いの禁止」や「受託拒否の禁止」などの全国の卸売市場に必要となる共通の取引ルールのみ法で定め、その他のルール等の設定は市場ごとに開設者に委ねました。

特に、その他の取引ルールのうち、「商物分離の禁止」、「第三者販売の禁止」、「直荷引きの禁止」について、法律の規制が削除されたことは、青果業界にとって大きな影響が危惧されます。

また、卸売市場法の改正により、「差別的取扱いの禁止」や「受託拒否の禁止」などの全国の卸売市場に必要となる共通の取引ルールのみ法で定め、その他のルール等の設定は市場ごとに開設者に委ねました。

また、卸売市場法の改正により、「差別的取扱いの禁止」や「受託拒否の禁止」などの全国の卸売市場に必要となる共通の取引ルールのみ法で定め、その他のルール等の設定は市場ごとに開設者に委ねました。

また、昨年にも台風が多発等により、我々水産業界の環境は非常に厳しい一年となりました。

資源の問題が地球温暖化の影響によるものか、旬の時期に旬の魚が獲れない。特に秋口のさんま・秋さけは過去に無い大不漁となり我々水産業界に多大な打撃を与えました。

また、昨年にも台風が多発等により、我々水産業界の環境は非常に厳しい一年となりました。

資源の問題が地球温暖化の影響によるものか、旬の時期に旬の魚が獲れない。特に秋口のさんま・秋さけは過去に無い大不漁となり我々水産業界に多大な打撃を与えました。

また、昨年にも台風が多発等により、我々水産業界の環境は非常に厳しい一年となりました。

資源の問題が地球温暖化の影響によるものか、旬の時期に旬の魚が獲れない。特に秋口のさんま・秋さけは過去に無い大不漁となり我々水産業界に多大な打撃を与えました。

また、昨年にも台風が多発等により、我々水産業界の環境は非常に厳しい一年となりました。

資源の問題が地球温暖化の影響によるものか、旬の時期に旬の魚が獲れない。特に秋口のさんま・秋さけは過去に無い大不漁となり我々水産業界に多大な打撃を与えました。



府青果卸売協同組合（東野達雄理事長）と府中央卸売市場管理センター株式会社（山口秀雄社長）は、1月7日に、地元茨木市の恵美須神社へ商売繁盛・招福を願って、青果物と「招福大まぐろ」を奉納した。午前8時に、法被姿の関係者20人が、奉納品を拝殿に運び込んだ。奉納式では、関係者が参列

**茨木恵美須神社に  
奉納・祈願**



する中、宮司のお祓い、祝詞に続いて、玉串奉奠し、祈願を行った。奉納の品は、特大の冷凍メバチマクロ、

**商売繁盛で  
笹もつていこう！**

1月11日の10時、地元茨木恵美須神社の恵美須講の福娘6人をはじめ「宝恵かこ」一行30名が来場。管理棟玄関前で、船木場長と田中府食品流通センター代表取締役今村恵美須講元から訪問の挨拶、次に船木場長と田中代表取締役が一行に歓迎の挨拶をされた後、今村講元や福娘とともに記念撮影を行った。一行

〈初荷入荷量〉

	平成31年	令和2年	前年比
	数量 (kg)	数量 (kg)	
野菜	530,600	482,500	90.9%
果実	150,300	135,200	90.0%
青果合計	680,900	617,700	90.7%
生鮮	104,900	82,900	79.0%
冷凍	5,900	32,900	557.6%
加工	68,100	19,300	28.3%
水産合計	178,900	135,100	75.5%



**新A棟の建替えに着手**

(株)大阪府食品流通センター  
代表取締役常務 田中英治

平成から令和になって、初めての新年を迎えております。昨年は、卸売市場法の改正に伴い、府では「業務規程」の改正案が策定され、関係

者間での合意を得て、本年六月からの施行に向けての続きが進められることとなりました。また、当市場の水産仲卸売場の低温化や市場

は、十分な台数の駐車場がご用意できますので、今しばらくご容赦いただければ幸いです。



**選ばれる冷蔵庫を目指して**

(株)北部冷蔵サービスセンター  
代表取締役社長 巽 計廣

昨年は年号も平成から令和に変わり、ラグビーワールドカップのベスト8進出をはじめ女子ゴルフな

ど、2020年東京オリンピック、パラリンピックに向けてスポーツ界は大変な盛り上がりを見せた一方、

また当社では不採算部門の製氷販売から撤退し、人材を確保し

台風などの自然災害の多い年でもありました。

ます。中央市場は当市場だけでなく正念場を向えています。市場の発展なくして冷蔵庫の発展はありません、今後常駐代表者会議、開設者を中心とした市場の活性化に向けた議論が進められる中で少しでも協力していきたいと思えます。

市場のゴールドチェーンを支える一部として、また選ばれる冷蔵庫を目指してがんばってまいります。



(7) 市場だより

《1頁から続く》

次いで、来賓代表の祝辞があり、西恵司府議会副議長は「府市場では指定管理



西恵司府議会副議長

は指定管理業者制度導入による管理運営コストの削減、市場の活性化の事業など大きな実績をあげておられ、今後とも府民の皆様



福岡茨木市長

福岡茨木市長は、「4月14日夕方方に茨木市も聖火リレーの地に選ばれており、市場の関係者にはご迷惑をおかけするが、この聖火リレーを通じて、オリンピックク



原田衆議院議員

あるいはスポーツを盛り上げるなど、未来にしっかりと耐えうる茨木市を創っていききたい」とご挨拶。

原田衆議院議員は、「いよいよ市場法が改正され6月から動くようでありま

京から大阪にシフトしてくるようなそういう年にしていきたい」と述べられた。



足立衆議院議員

を、大阪府の皆様には、たくさんのご来賓の皆様の前で、ご協力をお願いし、こういう小さなグラス



山口大阪府中央卸売市場管理センター(株)社長

の後、船木府中央卸売市場場長が中締めとして、「昨年は当市場の将来についてご検討いただきありがとうございます。何とかこれをしていきたい。皆様方とともに頑張



船木大阪府中央卸売市場場長

「来年は令和2年の東京オリンピックから、5年後2025年の大阪関西万博にパトンを引き継いでいく年になります。日本中で注目される、東

性化をされますことを心から祈念申し上げる」と述べられた。



卸売業者取扱高(令和元年12月) 大阪府中央卸売市場

Table with columns: 卸売業種名, 種類, 数量(トン), 前年比%, 金額(千円), 前年比%. Rows include 青果, 水産物, and 卸売業者計.



卸売業者取扱高(2019年) 大阪府中央卸売市場

Table with columns: 卸売業種名, 種類, 数量(トン), 前年比%, 金額(千円), 前年比%. Rows include 青果, 水産物, and 卸売業者計.

府域①昨年の人身(けがのある)交通事故件数は30862件で平成30年より35200件減少。亡くなられた方についても昨年130人で、17人減少している。

②貨物車では、昨年130人の死

市場協会安全部会(部会長 東野達雄府青果卸売協同組合理事

長)では、1月15日、管理棟会議室で、茨木警察署交

通課の藤本係長を講師にお願いして安全運転講習

会を開催した。

藤本講師の主

な指摘は次の通り↓

①昨年の人身(けがのある)交通事故件数は30862件で平成30年より35200件減少。亡くなられた方についても昨年130人で、17人減少している。

②貨物車では、昨年130人の死亡事故のうち20人が関係したものであった。

③事故の起こるピーク時間は、6~10時と16~20時で通勤通学の時間帯。急い



安全運転講習会を開催

死亡事故のうち20人が関係したものであった。③事故の起こるピーク時間は、6~10時と16~20時で通勤通学の時間帯。急い

# 活気溢れる初市!

府市場では、令和2年新春の初市が5日早朝に行われた。4時15分からのマグロの初せりから始まり、ちりめんのせり、鮮魚のせり、5時30分からは果実のせりが行われた。新年の挨拶を交わした買い手の皆さんが、せり人の掛け声に応え、熱気に溢れていた。



〈まぐろの初せり〉



〈ちりめんのせり〉

〈鮮魚のせり〉

# 水産の新年互礼会が開催される



北都水産物卸協同組合副理事長の司会により、先ず新年頭のご挨拶を、小笠原(株)うおいち北都支社長が

水産の新年互礼会がせり場で4時40分から開催された。吉田水産物卸協同組合副理事長の司会により、先ず新年頭のご挨拶を、小笠原(株)うおいち北都支社長が「昨年より整備計画が協議の運び、水産分科会で取り組んでいくので、そこでの課題解決が二つ進展していくのを大いに期待している。厳しさを増す環境だが、我々2卸は皆様と大いに協力しあっていきたい」と述べられた。

次に、船木場長は、「昨年は当市場のあり方について精力的にご議論できる場合があります。」

## 衛検だより

### 「新表示への切替」タイムリミット間近!

#### 食品衛生検査所

平成27年4月に施行された食品表示法及び食品表示基準により、新しい表示のルールが定められました。一般用及び業務用の加工食品及び添加物の表示はその経過措置期間(新ルールに基づく表示への移行のための猶予期間)が令和2年3月31日までとなっております。まもなく終了します。それまでに新しいルールに沿った食品表示への移行が必要です。旧基準からの主な変更点は以下のとおりです。

○**アレルギー表示について**  
・特定加工食品及びその拡大表記の廃止(以前は原材料欄に、例えば「マヨネーズ」や「オムレツ」と記載があれば「卵」を含むものと解

され、アレルギーである「卵」の表示が省略可能でしたが、これが廃止となります。)

・アレルギーの表示は個々の原材料への個別表示を原則とし、例外的に二括表示を可能とする(二括表示をする場合は、原材料として「卵」や「小麦」が表示されていても「二括表示欄に改めてそれらの表示が必要です」)

○**栄養成分表示の義務化**  
・一般用加工食品及び添加物への栄養成分表示の義務化(義務となる項目は、熱量たんぱく質・脂質炭水化物・食塩相当量です。なお業務用加工食品については任意表示です。また一般用であっても表示が



省略できる場合があります。)

○**表示可能面積の改善**  
・表示可能面積が30平方センチメートル以下であっても安全性に関する表示事項は省略不可

・原材料と添加物の区分を明確に表示(間にスラッシュ/を入れるか段落を分けます)

食品表示については細かいルールがたくさんあります。取り扱う食品の表示について不明な点がありましたら食品衛生検査所までご相談ください。

この発表会では、2人の学生が深夜帯の実習時間に普段見ることができない市場の姿を目の当たりにするとともに、食品衛生検査所、大阪北部中央青果(株)大水、(株)うおいち、大果大阪青果(株)の順に、それぞれの業務・作業について丁寧な説明を受け学んだことや、管理センター(株)が主催する小学生の市場見学や市場開放デー等での体験の成果を発表したものを。



衛検(水産仲卸) うおいち(近海せり場) 大果(近郷付近)

北果(松茸はこ詰め) 大水(太物)

## フィールドスタディで市場体験 立命館大学の学生2人



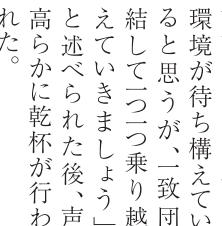
古田府流通対策室長の祝辞



船木場長の祝辞

論ご検討いただいた。今年はその歩みを進めるためにも頑張り「たい」と祝辞を述べられた。

次に、古田大阪府流通対策室長が「府市場の流通機能の拡充に、皆様方とともに努力していきたい」と述べられた。



花木大水北部支社長の乾杯の発声



長が乾杯のご挨拶で「今年もまた厳しい環境が待ち構えていると思うが、一致団結して二つ乗り越えていきましょう」と述べられた後、声高らかに乾杯が行われた。

